HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	研究室報
Citation	独語独文学科研究年報, 10, 97-99
Issue Date	1984-03
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/25649
Type	other
File Information	10_P97-99.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

研　究　室　報

講　義　内　容　（昭和５８年度）

学　　部

塩　谷　　饒	独語学概論
青　柳　謙　二	独文学史概説
T. Beckmann	Heinrich von Kleist's Dramen

学部・大学院共通

小　栗　　浩（集中）	ドイツ古典主義
塩　谷　　饒（後期）	ドイツ韻文の形態
青　柳　謙　二	Einige moderne Erzählungen und deren Interpretation
植　木　迪　子	言語研究の基本問題
渋　谷　寿　一	１９世紀レアリズム文学
P. Richter	Kurzgeschichten und Erzählungen von Heinrich Böll

大　学　院

塩　谷　　饒	ゴート語入門
青　柳　謙　二	Methodenprobleme der deutschen Literaturwissenschaft
植　木　迪　子	疑問文研究
T. Beckmann	Grundzüge einer geschichtlich vergleichenden Laut- und Formenmorphologie von ihrer Herkunft bis ins späte Mittelhochdeutsche
T. Beckmann	Einführung in Kant's „Kritik der reinen Vernunft“
T. Beckmann	Kolloquium für Studenten des Magister- und Doktorkurses

昭和５７年度　論　文　題　目

卒　業　論　文

仙　石　　享　　アルトゥール・シュニッツラーの短編小説と戯曲

羽　山　誠　司　　ロベルト・ムージルの初期作品『少年テルレスの惑い』について

吉　田　慎　子　　ケストナーと児童文学

大　弓　俊　樹　　舞台聖祓祝祭劇『パルジファル』の諸問題

遠　藤　浩　子　　「概ね」を表わすドイツ語副詞の意味・用法についての考察

池　田　真理子　　ブレヒトの〝叙事的演劇〟　── 諦めと発見 ──

修　士　論　文

寺　田　龍　男　　中高ドイツ語の動詞tuonとgetuonについて　── Das Nibelungenliedの場合 ──

研　究　室　行　事　記　録

◎　昭和５７年１２月１１日に、下記の講演会が百年記念会館で開かれた。

Till Beckmann氏(北大外国人教師)：Marienberg−Ein Kloster in den Alpen

◎　昭和５８年２月１９日に、昭和57年度卒業論文・修士論文発表会が独文学研究室で行なわれた。

◎　昭和５８年度は、下記の講演会が開かれた。

・３月１７日（北大附属図書館教養分館）

Claudius C. Müller氏（バイエルン州立民族学博物館）：バイエルン州立民族学博物館 ── その歴史と活動

・８月１日（文学部会議室）

Götz Wienold氏（Konstanz大学教授）：Kohärenz in Erzähltexten

・９月１０日（文学部会議室）

Peter von Polenz氏（Trier大学教授）：Woraus besteht ein Satz? Konstituenten des Satzinhalts

・昭和５９年２月４日（文学部会議室）

Till Beckmann氏（北大外国人教師）：Grundgedanken in Friedrich Nietzsches ‚Also sprach Zarathustra‘

北海道大学ドイツ語学・文学研究会会則

1. 本会は北海道大学ドイツ語学・文学研究会と称する。
2. 本会はドイツ語学・文学の発展に寄与することを目的とする。
3. 本会は上の目的達成のため下記の事業を行なう。
   1) 機関紙「独語独文学科研究年報」を毎年１回発行する。
   2) 合評会、研究会、講演会等を随時行なう。
4. 本会員は北海道大学文学部独語・独文学研究室の教官・院生（学生も含む）ならびにその趣旨に賛同する者によって構成される。
5. 本会員は上の活動の遂行のため所定の会費を支払う。
6. 本会は１名の会長と若干名の幹事をおく。幹事は会計および編集委員を兼任する。
7. 本会の会計年度は毎年４月１日に始まり３月３１日をもって終わる。
8. 本会の事務所は北海道大学文学部独語独文学研究室におく。

会　員　名　簿

青柳謙二	伊藤　智	伊藤祐紀子	石川克知
石橋道大	岩井　洋	岩田　聡	植木迪子
梅津　真	江口　豊	小澤幸夫	加藤寛蔵
川島淳夫	川東雅樹	岸川良蔵	佐藤　厚
佐藤修子	佐藤俊一	◎塩谷　饒	神　久聡
鈴木将史	瀬川修二	瀬野文教	高橋　修
高橋吉文	田中　剛	対馬　晃	○寺田龍男
西川智之	藤本純子	三浦国泰	最上英明
森田一平	山田恵子	山田善久	渡辺千枝子

◎ 会　長
○ 幹　事